平成29年度病害虫発生予報第1号（4月予報）

＜今月のコラム＞
- マンゴーにおける炭疽病の防除対策
- とうがんにおける果実軟腐症の防除対策
- ウリ科野菜におけるミナミキイロアザミウマの防除対策
- 季節予報とは(沖縄気象台)

＜お知らせ＞
さとうきびにおけるメイチュウ類の発生推移について以下URLに掲載しています。
http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/norin/byogaichubojo/documents/meichu.html
マンゴーにおけるチャノキイロアザミウマの発生推移について以下URLに掲載しています。
http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/norin/byogaichubojo/documents/chanoki.html

今月のトピックス

ミヤラナミハダニ（野菜・果樹類）
学名：*Tetranychus piercei*



雌成虫



成虫になる直前の雌をガードする雄成虫、および卵（左下）


トウガン圃場の着果棒に網を張ってむらがる雌成虫


パパイア苗の被害


エノキグサの葉にみられる食害痕


貯蔵トウガン果実に多発生した事例

生態と被害

日本、台湾、インドネシア等、東南アジアの温帯～熱帯地域に広く分布し、沖縄県の野菜類では同属のナンゴクナミハダニ（平成28年度病害虫発生予報第5号参照）に次いでよくみられる害虫種であるが、他地域では重要害虫とみなされていない。他の同属種とは形態的にも、葉にかすり状の被害をもたらす点でも類似するが、雄成虫が鮮やかな赤色（他種では白、橙色等）、卵が黄色（他種では透明、白、赤等）であることにより識別できる。ウリ科、ナス科、マメ科をはじめとしたさまざまな野菜類に発生し、トウガン、ピーマン、パパイア等ではナンゴクナミハダニよりも多くみられる。果樹類では、アテモヤ、ゴレンシ、バナナ等に発生する。農作物以外では、エノキグサやタイワンクズ、シマグワ等でよくみられるため、これらがほ場への侵入源である可能性がある。現在のところ、多くの農薬に対して感受性が高い。

http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojo/index.html

平成29年3月24日
沖 縄 県 病 害 虫 防 除 技 術 セ ン タ ー